

公衆衛生看護学分野

論文

A 欧文

A-a

- 1 . Nakao R, Nitta A, Yumiba M, Ota K, Kamohara S, Ohnishi M: Factors related to ikigai among older residents participating in hillside residential community-based activities in Nagasaki City, Japan. *Journal of Rural Medicine* 16(1): 42-46,2021. doi: 10.2185/jrm.2020-029.
- 2 . Mitsunaga W, Higashi T, Moriuchi T, Koyanagi M, Honda Y, Okita M, Honda S, Tateishi Y, Shiraiishi H, Tsujino A: Factors related to post-stroke depression during the first 2 weeks after stroke. *British Journal of Occupational Therapy* 84(1): 15-21,2021. doi: 10.1177/0308022620936865. (IF: 1.275)
- 3 . Hara K, Kuroda H, Matsuura E, Ishimatsu Y, Honda S, Takeshita H, Sawai T: Underbody blankets have a higher heating effect than overbody blankets in lithotomy position endoscopic surgery under general anesthesia: a randomized trial. *Surgical Endoscopy* 36(1): 670-678,2022. doi: 10.1007/s00464-021-08335-y. (IF: 3.453)
- 4 . Ohnishi M, Tembo B, Nakao R, Matsuura E, Fujita W: Factors associated with self-rated health among mineworkers in Zambia: a cross-sectional study.. *Tropical medicine and health* 49(1): 11,2021. doi: 10.1186/s41182-021-00300-8.
- 5 . Nishida T, Yamabe K, Honda S: The influence of dysphagia on nutritional and frailty status among community-dwelling older adults. *Nutrients* 13(2): 512,2021. doi: 10.3390/nu13020512. (IF: 6.706)
- 6 . Imoto A, Sarker M, Akter R, Matsuyama A, Honda S: Health-related quality of life in parous women with pelvic organ prolapse and/or urinary incontinence in Bangladesh. *International Urogynecology Journal* 32(4): 887-895,2021. doi: 10.1007/s00192-020-04410-5. (IF: 1.932)
- 7 . Nishida T, Nakao R, Nishihara M, Kawasaki R, Honda S: Weekly exercise programme with foot exercises to improve physical function in community-dwelling pre-frail older adults. *Asian Journal of Gerontology and Geriatrics* 16(1): 13-17,2021. doi: 10.12809/ajgg-2020-387-0a.
- 8 . Hirano OY, Nugraha S, Shiozu H, Higashijima M, W Rahardjo TB: Measuring attentiveness toward oral care needs: a comparative study of Indonesian care workers in Japan and Indonesia.. *Human resources for health* 19(1): 71,2021. doi: 10.1186/s12960-021-00614-y.
- 9 . Matsuo M, Tanaka G, Tokunaga A, Higashi T, Honda S, Shirabe S, Yoshida Y, Imamura A, Ishikawa I, Iwanaga R: Factors associated with kindergarten teachers' willingness to continue working.. *Medicine (Baltimore)* 100(35): e27102,2021. doi: 10.1097/MD.00000000000027102. (IF: 1.817)
- 10 . Shinohara A, Kawasaki R, Kuwano N, Ohnishi M: Interview survey of physical and mental changes and coping strategies among 13 Vietnamese female technical interns living in Japan.. *Health care for women international* : 1-17,2021. doi: 10.1080/07399332.2021.1963966. (IF: 1.373)
- 11 . Taketomi K, Ito YM, Tokunaga E, Hirano OY, Fujino Y, Chishaki A: Developing a questionnaire on the quality of working life for female medical and healthcare professionals.. *Industrial health* 59(6): 371-382,2021. doi: 10.2486/indhealth.2020-0257. (IF: 2.707)
- 12 . Nakao R, Sugiyama K, Nitta A, Ohnishi M: Relationship between health status and religion in areas with high proportions of Christians in Sotome District, Nagasaki, Japan. *Japanese Journal of Health and Human Ecology* 87(6): 255-264,2021. doi: 10.3861/kenko.87.6_255.
- 13 . Kosaka S, Nakao R, Ohnishi M, Umezaki M: The proportion of older population in Nagasaki, Japan, is higher in areas with poor walkability and accessibility. *Japanese Journal of Health and Human Ecology* 87(5): 237-246,2021. doi: 10.3861/kenko.87.5_237.

B 邦文

B-a

- 1 . 間山一枝, Esther Jahng, 栗島一博, 本田純久, Doosub Jahng : 大学の専門科目授業におけるキーワードの形状と記憶状況との関連. *バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌* 23(2): 1-9, 2021.
- 2 . 本田歩美, 本田純久 : 介護事業所と職員間における離職防止と定着促進にむけた取り組みに対する認識の乖離—長崎県島しょ部における介護事業所を対象とした実態調査から—. *介護経営* 15(1): 3-12, 2021.
- 3 . 高尾真未, 佐々木規子, 近藤達郎, 今村 明, 黒木良和, 黒田裕美, 本田純久, 宮原春美, 宮田海香子, 松本 正, 森藤香奈子 : ダウン症者のための認知機能評価尺度(日本語版CS-DS)の信頼性と妥当性. *日本遺伝カウンセリング学会誌* 42(1): 125-133, 2021.
- 4 . 永江誠治, 河村奈美子, 星 美和子, 本田純久, 北島謙吾, 岩瀬信夫, 小澤寛樹, 花田裕子 : 障害のある虐待被害児の自立支援において里親が抱える養育上の困難さ. *保健学研究* 34(1): 57-66, 2021.

5. 佐伯壮一郎, 柳澤沙也子, 小笠原理恵, 安田直史, 中村安秀, 関西グローバルヘルスの集い運営委員会: 大規模オンラインセミナー運営で何を注意すべきか?—日本WHO協会「関西グローバルヘルスの集い」主催側の教訓. 国際保健医療 36(2): 63-72, 2021.
6. 勝井由美, 窪田昭男, 窪田祥吾, 柳澤沙也子, 安田直史, 中村安秀: ラオスの小児外科卒後研修でのSNSを用いた遠隔コンサルテーション支援. JICHAジャーナル 8(1): 1-4, 2021.
7. 阿部弘之, 本田純久, Jahng Doosub: 診療放射線技師養成校における教育研修支援システムでの学習スコアと学力試験の成績との関連. バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌 23(2): 69-76, 2021.
8. 村嶋幸代, 川崎涼子: 【保健師人材育成のいま、そしてこれから】(第1部)保健師人材育成の現状「市町村保健師の人材育成体制の構築支援事業」から見えてくるもの. 地域保健 52(3): 24-29, 2021.
9. 南嶋里佳, 新地浩一, 大西真由美: 被災した在留外国人における災害関連ヘルスリテラシーの課題および災害時支援における課題に関する質的研究. 保健学研究 = Health science research 34: 1-10, 2021.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	2	0	0	9

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
大西真由美・教授	理事	日本国際保健医療学会
大西真由美・教授	代議員	日本公衆衛生学会
大西真由美・教授	評議員	日本熱帯医学会
大西真由美・教授	委員	長崎県精神保健福祉審議会
大西真由美・教授	保健事業支援・評価委員会・委員長	長崎県国民健康保険団体連合会
大西真由美・教授	委員長	長崎県再犯防止推進ネットワーク協議会
本田純久・教授	健康ながさき21調査検討小委員会委員	長崎県
本田純久・教授	代議員	日本健康学会
本田純久・教授	代議員	日本疫学会
平野裕子・教授	国際交流委員会委員	日本保健医療社会学会
平野裕子・教授	理事	健康支援学会
中尾理恵子・教授	評議員	日本健康学会
中尾理恵子・教授	障害施策推進協議会委員	長崎県
中尾理恵子・教授	福祉のまちづくり推進協議会委員	長崎県
中尾理恵子・教授	長崎市地域密着型サービス等事業者選定審査会会長	長崎市
中尾理恵子・教授	諫早市地域密着型サービス運営委員会会長	諫早市
川崎涼子・准教授	代議員	日本公衆衛生学会
川崎涼子・准教授	代議員	日本地域看護学会
川崎涼子・准教授	編集委員	日本公衆衛生看護学会
川崎涼子・准教授	長崎県支部運営委員	日本ALS協会
柳澤沙也子・助教	「関西グローバルヘルスの集い」運営委員	日本WHO協会
柳澤沙也子・助教	日本WHO協会機関誌「目で見えるWHO」編集委員	日本WHO協会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
------	-------------	-------	------

大西眞由美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究C「近隣居住環境と住民の買物行動及び栄養摂取に関する調査：フードデザート観点から」
大西眞由美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究C「在日外国人の災害対策における特有のニーズと共助の担い手としての可能性の探求」
大西眞由美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金・基盤研究C「女性外国人技能実習生のリプロダクティブヘルスニーズに対する支援の構築」
大西眞由美・教授	全国共済農業共同組合連合会 (JA共済連)	代表	令和3年度JA共済連委託研究「地域住民の食生活と腸内細菌叢および体内重金属曝露の関連」
大西眞由美・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽)「薬物事犯による刑事施設入所中の累犯受刑者の保健医療ニーズと社会生活定着要件」
本田純久・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「青年期における体罰容認意識の関連要因 ―親性準備性促進プログラム開発に向けて―」
本田純久・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「イスラームを国教とするバングラデシュにおける女性の性機能障害の実態と障害への対処」
本田純久・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「介護職員として働きながら親を介護している多重介護者のストレスマネジメントの実際」
本田純久・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「高齢者の介護購買力が家族介護者の仕事と生活に与える影響」
本田純久・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「なぜ人々は聖水治療を求めるのか：エチオピア北部聖地の事例研究」
本田純久・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「子どもはいかに出生コホート調査参加意識を形成しインフォームド・アセントに至るのか」
本田純久・教授	国立がん研究センター	分担	がん研究開発費「共同研究グループのデータセンター間の連携によるがん治療開発研究の効率化と質的向上のための研究」
中尾理恵子・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「近隣居住環境と住民の買物行動及び栄養摂取に関する調査：フードデザート観点から」
川崎涼子・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「健診未受診者対応から「自ら支援を求めない人々」の健康生活実現に向けて」
川崎涼子・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「生活習慣病等の健康課題をもつ元受刑者への保健師による健康支援の構造化」
川崎涼子・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「近隣居住環境と住民の買物行動及び栄養摂取に関する調査：フードデザート観点から」
川崎涼子・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「女性外国人技能実習生のリプロダクティブヘルスニーズに対する支援の構築」
柳澤沙也子・助教	公益財団法人ユニバーサル財団 2021年度研究助成	代表	養護教諭が経験してきたヤングケアラーの支援の現状

その他

非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
------	---------	-------

大西眞由美・教授	非常勤講師	国際医療福祉大学 九州地区生涯教育センター 認定看護師教育課程「感染管理」
柳澤沙也子・助教	非常勤講師	和歌山県立大学

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
大西眞由美・教授	「国保連合会保健事業支援・評価委員会」報告会	国保新聞	2022年1月20日	自治体へ訪問型支援